

令和4年度事業報告

本法人では、昭和62年4月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、令和4年度は14の拠点において延べ37事業に取り組みました。

基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図りました。

令和4年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりです。

1. 中期計画の推進

(1) 施設整備

「グループホーム花桃」の3棟目（グループホーム（気噴・高森台）の移転先）として、「ひばり」棟を7月に入札、8月に落札業者と請負契約を締結し、以下のとおり整備しました。

ア 規模・構造：木造平屋建て 239.47 m²、定員8名

イ 工期：令和4年8月～5年1月

ウ 整備費：96,355,450円

(2) 計画の推進

法人の基本理念を踏まえ、今後の施設・事業所運営の指針となる四つの基本方針に沿って定めた目標の達成、着実な推進に向け、基本方針ごとに設けた委員会において取組を行いました。

【計画期間】 令和3年度から7年度までの5か年

中期計画基本方針	委員会名	委員会の主な取組内容（4年度）
I. サービスの質の向上	サービス向上	・職員行動規範の見直し・労災分析・BCP作成等
II. 地域貢献	地域貢献	・地域生活拠点事業の検証 等
III. 人材の育成	人材育成	・職員研修実施要綱の策定 等
IV. 健全で透明性の高い運営	経営会議	・給与制度の見直し

2. 財政基盤の安定

障害福祉サービス等事業収入は、新型コロナウイルス感染症の拡大による利用者数の減少により当初予算の見込額を下回る一方、支出では電気代、ガス代の高騰により水道光熱費が、前年度より約3割程度増加しましたが、最終的な事業活動による差引収支差額は、退職等による人件費の減及び行事縮小等により支出の減額があったほか、高額寄付（38,088千円）があったことにより、当初予算の見込額より増額となりました。

また、財政基盤の安定を目指すにあたって重要な要素となる人件費に関連して、給与制度の見直しの検討を前年度に引き続いて行い、見直しの内容を職員に説明、了解を得た上で、令和5年度から新給与制度を運用することとなりました。

3. 人材の確保・育成

新卒者10名程度の採用や年度途中での退職による欠員補充ができるように、就職情報サイトの活用や就職説明会への参加により求人活動を行うと共に、職員の定着や職員のスキルアップを図るためにベースアップ手当の支給や研修の充実に努めました。

(1) 職員の採用（正規職員）

ア. 採用状況

令和4年4月2日～令和5年3月31日採用 6名（支援員6名）

令和5年4月1日採用 13名（支援員10名、相談員1名、事務員2名）

イ. 正規職員登用

2名

(2) 職員の退職

令和4年度中退職者 21名（定年1名、再雇用期間満了1名、自己都合19名）

(3) 職員の待遇改善

これまでの待遇改善手当及び特定待遇改善手当に加え、令和4年2月以降は、介護職員（常勤換算）1人当たり月額平均9,000円のベースアップ手当を支給しました。

(4) 職員研修の充実

ア. 新規採用職員研修（6名）とフォローアップ研修（6名）の実施

イ. 知的障害を理解するための基礎講座（16名）（途中退職者1名）

ウ. 知的障害援助専門員養成通信教育の受講（17名）（途中退職者2名）

エ. 新任副主任研修の実施（10名）

オ. 新任主任研修への参加（県社協5名（令和4年度昇任者4名・令和3年度昇任者1名））

カ. 新任管理職員研修への参加（県社協、1名）

キ. 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会主催等の研修に参加

4. 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長の職務執行状況の報告等のため、理事会を8回、評議員会を3回開催しました。

理事会8回のうち4回は、新型コロナウィルス感染症の感染拡大抑制を図る観点から、理事会の開催自体を省略して書面で賛否を問い合わせ、同意を得る方法（決議の省略）としました。

(1) 理事会

開 催 日	議 題 等
1 5月30日	<p>【議題】①令和3年度計算書類・事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の承認②定時評議員会の開催③令和4年度第1次収支補正予算(案) ④グループホーム花桃「ひばり」新築工事に係る入札に関する事項 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②新型コロナウィルス感染症への対応</p>
2 (決議の省略)	<p>【議題】①グループホーム花桃「ひばり」新築工事に係る入札参加業者の決定及び入札参加業者への説明事項</p>
3 (決議の省略)	<p>【議題】①グループホーム花桃「ひばり」新築工事に係る入札参加業者の変更</p>
4 (決議の省略)	<p>【議題】①グループホーム花桃「ひばり」新築工事に係る請負契約の締結</p>
5 9月21日	<p>【議題】①規程等の改正（育児休業等に関する規程、介護休業等に関する規程及び契約職員等給与内規）②幹部職員の人事異動</p>
6 11月21日	<p>【議題】①令和4年度第2次収支補正予算(案)②令和4年度第2回評議員会の開催③役員賠償責任保険 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②入所4施設における利用者支援の役割分担③中間監事監査の結果</p>
7 (決議の省略)	<p>【議題】①評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦</p>
8 3月16日	<p>【議題】①定款の変更②規程等の制定及び改正(キャリアパス規程の制定、組織規程、職員就業規則、育児休業に関する規程、職員行動規範、職員給与規程、契約職員等給与内規、経理規程、役員等報酬規程及び奨学金償還助成要綱の改正)③令和4年度第3次収支補正予算(案)④令和5年度事業計画及び収支予算(案)⑤令和5年度資金運用計画⑥令和</p>

		4年度第3回評議員会の開催⑦幹部職員の人事異動 【報告事項】①中期計画の検討状況②職員等の採用・退職の状況③職員の懲戒処分④令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果⑤令和5年度社会福祉法人養樂福祉会監事監査計画⑥新型コロナウイルス感染症
--	--	---

(2) 評議員会

開催日		議題等
1	6月14日	【議題】①令和3年度計算書類及び財産目録の承認②令和4年度第1次収支補正予算(案) 【報告事項】①令和3年度事業報告②理事長及の職務の執行状況③新型コロナウイルス感染症への対応
2	12月1日	【議題】①令和4年度第2次収支補正予算(案) 【報告事項】①理事長の職務の執行状況②入所4施設における利用者支援の役割分担③中間監事監査の結果
3	3月24日	【議題】①定款の変更②令和4年度第3次収支補正予算(案)③令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案) 【報告事項】①中期計画の検討状況②職員等の採用・退職の状況③職員の懲戒処分④幹部職員の人事異動⑤令和5年度社会福祉法人養樂福祉会監事監査計画⑥新型コロナウイルス感染症

(3) 監事監査

実施日	監査内容
5月13日	令和3年度決算監査
10月11日・13日・17日	各施設等の巡回業務監査

(4) 運営会議

運営会議を年8回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5 障害者虐待防止

虐待防止に関する新たな規程等を制定し、虐待の未然防止や虐待発生時における迅速な対応と虐待の検証、再発防止策の検討等に取り組む体制の整備を行いました。

一方、虐待通報が4入所施設で8件あり、このうち虐待認定を受けた事案が2件ありました。

これらの通報事案のほかやヒヤリハットについて、施設・事業所の虐待防止委員会において検証し、再発防止策を講ずると共に法人全体で検証結果等を共有したほか、職員行動規範の全面的な見直しや研修の充実を図り虐待防止の推進に努めました。

なお、虐待の認定は養和荘及び第二養和荘で各1件あり、養和荘では、職員が利用者を制止する際に「後ろから羽交い絞め」のような行為及び利用者の左頬を平手打ちした事案、第二養和荘では、職員が利用者の腹部マッサージを行った際、利用者が「痛い」と訴えているにもかかわらず、マッサージを続けた（腹圧をかけ続けた）事案が虐待と認定されました。

6. 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養樂福祉会サービスに関する苦情解決規程」を定め、苦情解決のための体制を整えていますが、地域サポートセンターで1件、総合相談支援センターで3件、さいおワーカーズで2件、たかもりで2件、キッチン高森で1件の合計で9件の苦情が寄せられました。

苦情の内容としては、地域サポートセンター及び総合相談支援センターでは、職員と利用者家族

との間で、職員の対応への不満、不信により退所の意向や担当者変更等の要請が寄せられたもの、さいおワークスでは、何れも送迎車の運転マナーに関するもの、たかもりでは、コロナ陽性者の発生の際における利用者家族への情報伝達方法の徹底に関するものでした。

また、キッチン高森では、職員（スタッフ）間の言動に関するもので、事実関係を確認し、同様な言動が繰り返されないように対応を行ったものです。

全ての申出者に対しては、苦情解決責任者である施設長等から謝罪や再発防止対策の説明により納得いただくと共に、関係職員への指導や職員間での情報共有を図りました。

今後とも職員の意識を高め利用者、家族への丁寧な対応に努めてまいります。

7. サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成27年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、令和4年度は、はさま、なかぎりワークス、わかばで実施しました。

8. 経営・労務管理の改善

平成28年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・労務管理の改善に取り組んでおり、令和4年度は、公認会計士による監査の試行、理事長等（施設長等の代表）との意見交換を実施し、専門家の知見を生かした経営・労務管理の改善に努めました。

9. 事業継続計画(BCP)の整備等について

大規模地震等の非常災害を想定したBCPについて、先行して策定した4入所施設に続き新たに法人全体の計画及び通所事業所の計画を策定しました。

10. 借入金返済

借入先	年度当初借入残高	借入額	償還額	年度末借入残高
福祉医療機構	991,587千円	0千円	67,692千円	923,985千円
瀬戸信用金庫	400,735千円	0千円	29,556千円	371,179千円
合計	1,392,322千円	0千円	97,248千円	1,295,074千円

11. 施設整備積立金

前年度末積立額	年度中積立額	年度中取崩額	年度末積立額
229,070千円	28,861千円	29,070千円	228,861千円

◎運用状況等（令和5年3月31日）

前年度末積立額のうち2億円は、将来発生する大規模修繕資金等に充てるため、証券会社三社からの提案の中から償還期間5年から7年の社債で運用を開始しました。

年度中積立額は、例年どおりGH家賃相当額及び寄附金を積み立てました。

年度中取崩額は、グループホーム花桃「ひばり」の整備費用に充当しました。

12. 新型コロナウイルス感染症への対応

各施設、事業所において、外出の取りやめや事業の縮小のほか、保護者等の面会を控えていただくほかに日常の検温・手洗い・消毒、必要時のマスクの着用、換気の実施など基本的な対策を徹底しながら、感染予防・感染拡大防止に努めました。

しかし、法人内全ての事業所で陽性者の確認があり、利用者、職員を合わせると331名となり、このうち2名（養和荘・第二養和荘）の方は、救急搬送先の病院で死亡が確認されました。

クラスター発生の際は、陽性者の個室管理や簡易居室の使用、臨時静養室の設置などで、更なる感染拡大を防ぐとともに、法人内の応援体制を整えて陽性者への支援を行いました。